

令和8年度 第8回第7期松本市地域づくり市民委員会 会議要旨

開催日時 令和8年4月23日（木曜日） 午後3時30分から午後5時00分まで

開催場所 大手公民館 大会議室

出席者（敬称略）

委員 古田成志（委員長）、降旗都子（副委員長）、野村茂、中村宗晴、永塚博、塩原敏宏、堀川聡子、櫻井美智代、赤羽勝、櫻井利彦、金正玉、竜田大輝、木藤永子
（欠席：中島麻衣、百瀬壽）

事務局 住民自治局長 廣田 圭男

地域づくり支援課 地域づくり支援課長 上條智久

地域づくり支援担当 課長補佐 床尾拓哉 主事 児玉悠香

市民活動推進担当 係長 小岩井一樹 事務員 上野颯馬

1 開会

（委員長 古田成志）

2 あいさつ

（委員長 古田成志）

3 住民自治局長あいさつ

（住民自治局長 廣田 圭男）

職員の異動に伴うあいさつ

4 会議事項

(1) ワーキンググループによるグループワーク

各グループで作成した提言書骨子（案）をもとに、グループごと、市への要望・提言について話し合いを行った。

グループ 番号	テーマ	話し合われた内容
①	持続可能な自治組織 （町会）のあり方	・ 町会業務の可視化・モデル化等によって、全体のスリム化を図っていく必要がある。 ・ 外部に委託できそうな業務については、アウトソーシング化を検討できないか。 ・ 町会活動に関わる人を増やしていくには、例えば子ども関係の事業などを通じて、町会と接する機会を拡大していくことが重要。 ・ 町会運営の負担が町会長に集中している実態もある。今後、町会長の業務にも踏み込んで提言していきたい。

グループ 番号	テーマ	話し合われた内容
②	幅広い住民の地域 参加の促進	・ 知りたい情報にたどり着けない。自分の居住地域や自分に合った情報を取れるようにしたい。 ・ 活動したくても形にできない人のため、やりたいを形にする支援が必要。 ・ 地区公民館の行事に参加した人の情報を町内公民館と共有できる仕組みは作れないか。 ・ P T Aの解散により、親や子どもたちと町会の関係が希薄化している。町会や公民館がP T Aを支援することで伝統行事が守られ、地域とのつながりが広がるのではないか。
③	多様な主体との協 働の推進	・ 企業やN P O等の団体をはじめとする多様な主体との協働を推進するためには、地域での活動に対する動機付けが重要であることから、企業やN P Oの地域貢献に対する認証や表彰の制度を作り、インセンティブ・メリットを付与していくことを検討すべき。 ・ 3 5地区にある地域づくりセンターに、企業やN P Oと町会をつなぐ、または困りごととその解決のために一緒に活動してくれる人をつなぐコーディネート機能を強化することが重要。 ・ 各地区で協働による地域づくりを推進するためには、地域づくりセンターにどんな人がいてどんなことをやっているか、地区内でどんな活動があるかなど、わかりやすい形で情報発信していくことが必要ではないか。

(2) 質問等

(竜田委員)

- ・ 業務の可視化が共通課題である。
- ・ デジタル化のきっかけづくりのためわかりやすい情報発信が必要。
- ・ 困っている事とできる人のマッチング（つなぐ役目）をセンターに期待したい。
誰がどんなことで困っているのか、どんなことができるのかを見えやすくすることが重要。

(2) その他

(説明 事務局)

- ・ 事務連絡について

(以上)